

ちょぼら

No. **6**
(2005.3)

大刀洗町ボランティアセンター
設立特集号！



古賀会長あいさつ

大刀洗町ボランティアセンター設立にあたって

大刀洗町社会福祉協議会会長 古賀 芳 男

ボランティアセンターの原点であります「善意銀行」というものが昭和37年に徳島で生まれ、すぐに飛び火して大分でも生まれました。その「善意銀行」が「奉仕活動センター」になり「ボランティアセンター」になって、今は「ボランティア市民活動センター」ということで全国市町村で拡大されています。平成7年の阪神・淡路大震災では、ボランティア団体が12万団体740万人、個人ボランティアが38万人を超え合計780万人と増加し、現在もたくさんの方がボランティアとして活躍されています。福岡県内でも95市町村のうち、85の市町村が「ボランティアセンター」を設置して活動を続けています。

大刀洗町社会福祉協議会も、ボランティアセンター設置に向けて準備を進めて参りましたが、各種活動団体、賛助団体のご協力を頂き、3月12日設立式典を迎えることが出来ました。

「すべての人が自分らしく、住みなれた地域で安心して住み続けるために支えあえる福祉のコミュニティづくり」を目指して参りたいと思っております。

皆様方の絶大なるご支援ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

お待ちしております！ あなたのボランティア登録。

ボランティアセンターには
どなたでも登録できます。
まずはお電話ください。

ボランティア活動したい人

登録方法 ボランティアセンターに来所し活動出来る曜日・時間帯・特技・やってみたいことなどを登録します。活動中の万が一に備えて、ボランティア活動保険加入料300円が必要です。

活動紹介 活動の場を紹介したり、活動に必要な研修会やステップアップのための研修会をご案内します。

ボランティアにきてほしい人

希望する曜日・時間帯・内容を、電話又は来所してご相談下さい。適切なサービス等と調整したり、ボランティアにご紹介します。

お問い合わせは…
大刀洗町ボランティアセンター
(大刀洗町社会福祉協議会)
TEL77-4877

こんなところです！ 大刀洗町 ボランティアセンター

1. ボランティアの窓口です。
ボランティア活動をしたい人と、ボランティアの援助をうけたい人の橋渡しをします。どなたでもお気軽にご相談下さい。
2. ボランティア活動を
応援します。
 - ・情報誌の発行。
 - ・入門講座・研修会の開催。
 - ・ボランティア活動についての調査・情報提供。
 - ・活動のための場所・器材の貸し出し。
 - ・ボランティア活動保険の加入受付。

ボランティアセンターの充実発展のために ～愛着のあるボランティアセンターに育てよう～

この度、「大刀洗町ボランティアセンター」が誕生しました。大変うれしいことです。このボランティアセンターの事業を充実発展させるためには、運営委員会として、つぎの4つの視点から研究、協議を実施していくことが大切であると考えています。

第一の視点は、いつでも、どこでも、誰でもが、気軽に、楽しくボランティア活動に参加できるような方策を考えることです。

第二の視点は、ボランティア連絡協議会、地域活動団体、賛助団体など、それぞれの団体の連携を深める取り組みを進めることです。

第三の視点は、子ども達のボランティア体験活動が効果的に実施できるように学校や教育委員会と協力しながら支援することです。

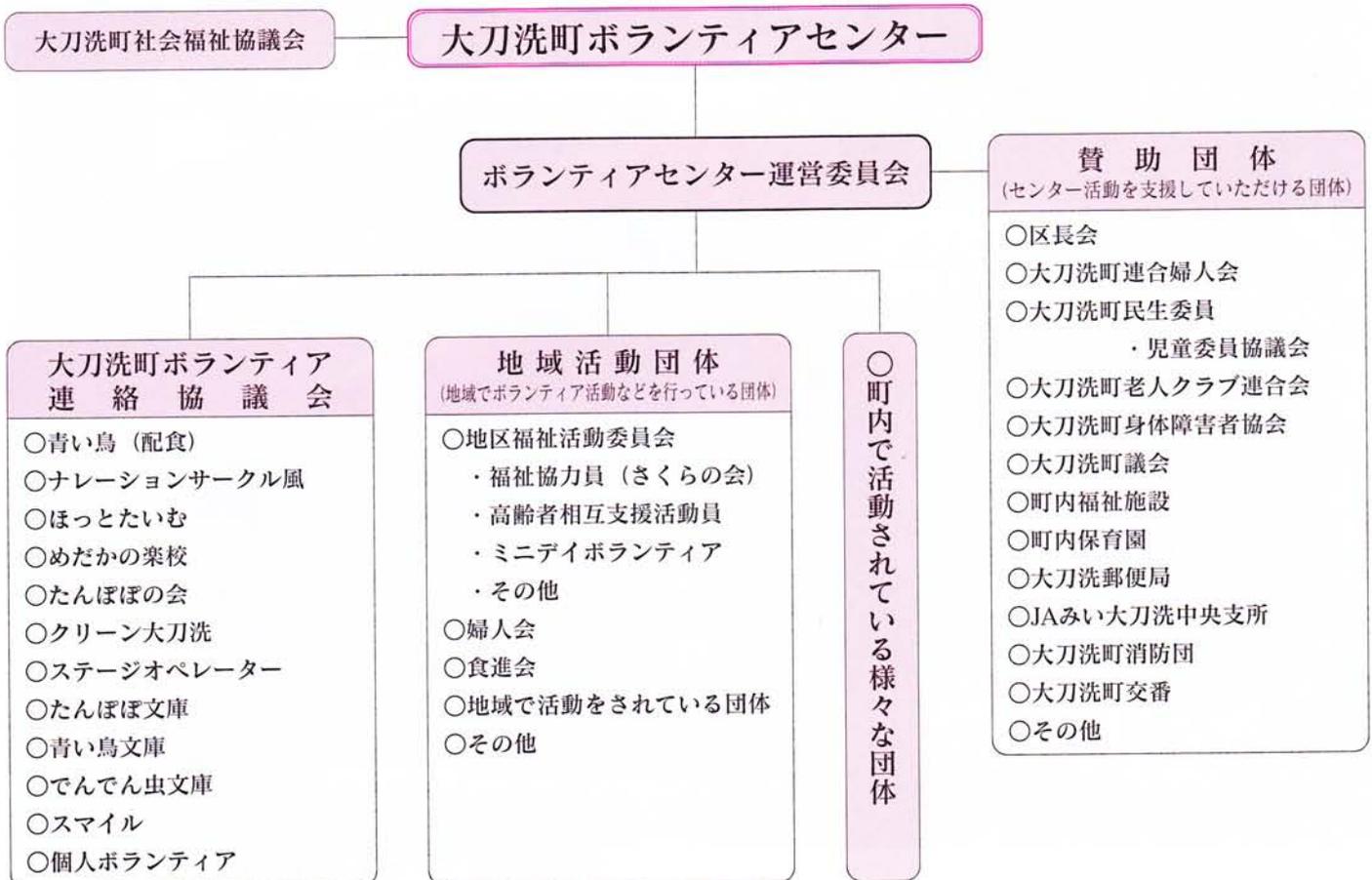
第四の視点は、町民の多様なニーズに対応できるように福祉分野だけでなく、例えば、災害救援活動、環境保全活動など、幅広い活動の開発、育成に努めることです。

以上の視点にそってボランティアセンターが機能するには、どうしても町民の皆様の積極的な参加が必要です。ボランティアセンターを「私たちの町のボランティアセンターだ」と愛着を持ち、あたたかく育ててください。

皆様のご理解とご支援を切にお願いします。

大刀洗町ボランティアセンター運営委員長 柳 邦彦

大刀洗町ボランティアセンター組織表



点字教室「凸凹の会」講師紹介

2003年10月よりスタートした、点字教室「凸凹の会」は毎月第2・第4木曜日の午後8時からぬくもりの館で勉強会をしています。「先生」と言われるのが恥ずかしいからと「平田さん」「原さん」と呼ばれるお二人は全くのボランティアです。

感謝の気持ちを込めて、ご紹介します。



原 謙二 先生 (上高橋在住)

27歳で発病、弱視になる。

35歳で、針灸マッサージ師の資格を取る。

42歳で失明の恐れにせまられ、小郡市の「ほたるの会」で、点字を約2年間学ぶ。

現在、上高橋にて針灸マッサージ院を営業中。趣味は読書(点字図書)。

……(原先生からのコメント)……

平田先生には目の見える人への点字の指導をお願いしたい。

私自身は、点字を知らずに過ごしている視覚障害者や、闘病中で「将来失明したら何も出来ないのではないかと不安を抱えている人達に「点字が分かれば読み書きができる」ことを伝えたい。

点字ボランティアの輪がますます広がり仲間が増えることを願っています。

平田 和則 先生 (今 在住)

若いころ点字を学んだ仲間たちと、甘木市の点訳ボランティアグループ「ふみの会」を発足。以来約20年、点字に関わる。

一昨年10月、地元大刀洗にも点字を勉強する会が出来るという事で、ボランティアとして協力・指導に当たることを決意、現在に至る。

……(平田先生からのコメント)……

「凸凹の会」の点字の実力は、まだまだ。しかし、ここまで続いたので楽しみでもある。これからも、この会の方向性を決めてしまうつもりはない。会のみんながどういう方向に行こうとしているのか、それを見守りつつ、時にオシリを叩こうと思っている。

今年あたり、何か点訳をして、同じく会に関わっている、原さんや視覚障害者の方々に提供できれば…いいな~と思っている。

大刀洗の皆さんに、とにかく「点字」を知ってもらいたい。

“ちょぼら” 地域特派員募集

皆様の地域での小さなボランティア、ちょっとした話等取材して記事を書いて下さる方、また情報を提供して下さる方を“ちょぼら地域特派員”として募集します。ご協力下さる方は、大刀洗町ボランティアセンターまでご連絡下さい。

編集スタッフ

スマイル



代表

戸塚 幹 栄
福村 宮 生
福村 地代 充
川 端 好 江

3月12日大刀洗ボランティアセンター設立に伴い、今号より「ボランティア活動に関する情報、ご意見、ご感想やお問い合わせ」は「大刀洗町ボランティアセンター」へお寄せ下さい。

住所：三井郡大刀洗町富多826-1
TEL：0942-77-4877
FAX：0942-77-4877

